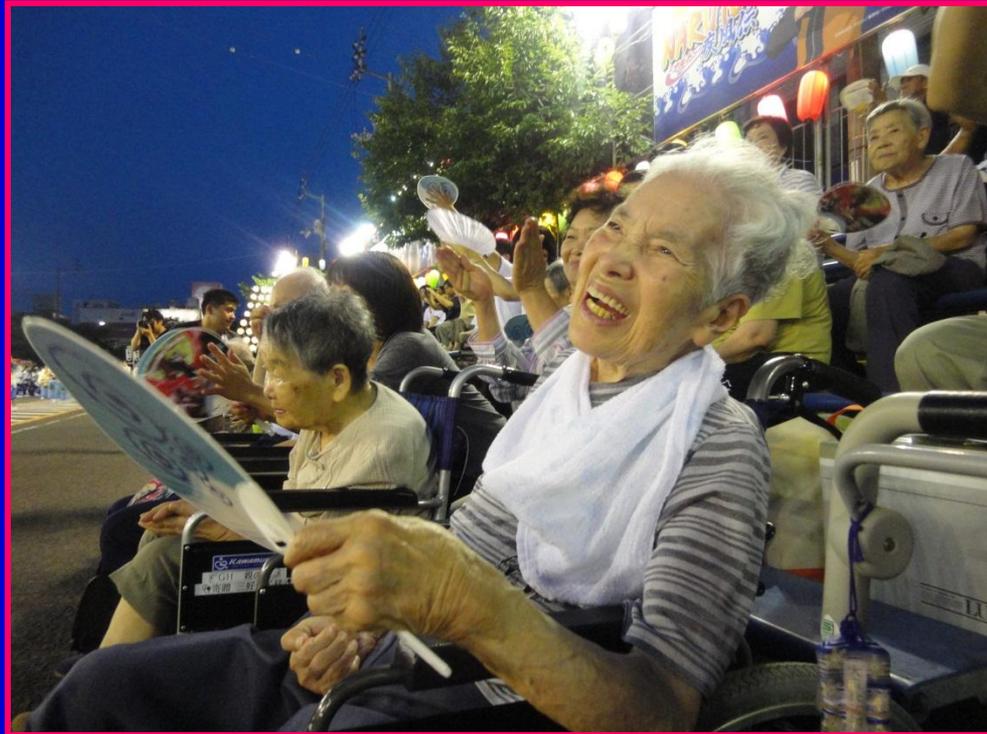


人生の「主役」になれる 利用者さんを目指して

～馴染みの人・場所との再会～



医療法人 凌雲会 グループホーム親の家
平川 公大

利用者さんが主役になれる支援

お出かけ

家事

調理

買い物

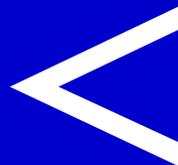


親の家

<閉ざされた空間>

利用者さん

支援される人



職員

支援する人

外に目を向けた支援

- ◆ 利用者さんの馴染みのある人・場所に会いに行くという試み。
- ◆ 馴染みの人・場所との出会いによって、利用者さんが、今まで築いてきた社会の中での役割を思い出し、再び生活の主役であった自分を取り戻すことが出来るのではないか？

Fさん 95歳 女性 要介護4



脳出血

- ◆ 利き手足に麻痺
- ◆ 失語症

自宅での生活

- ◆ 自立した生活
- ◆ 近隣の人のお世話
- ◆ みんなに慕われていた
- ◆ リーダー的存在

親の家での生活

- ◆ 出来ることが限られている
→ 自信がもてない
- ◆ 排泄に不安
→ 外出に抵抗がある

家族

- ◆ 仲の良かったお孫さんの結婚→県外へ
- ◆ 長女さんとの間に見えない壁がある

疎遠



子ども大好き★



何か刺激があると



元気いっぱい！



馴染みの場所に行ってみよう！

生まれ育ったO町へ



長女さんに報告

K町の情報

Fさんの情報



1番仲が良く
お世話をした
「タバコ屋のOさん」
の存在

K町でみんなに歓迎されるFさん

昔話に花を咲かせるFさん



久しぶりの2ショット★

「タバコ屋のOさん」
との再会



何かいるもんじゃないで？
あったら買ってこよか！

自信に満ちた
言葉・表情

昔と同じFさん

〇さんに電話中のFさん

私も、もっと
母に
してあげたい！

長女さん

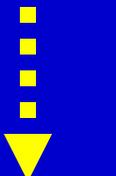
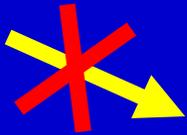
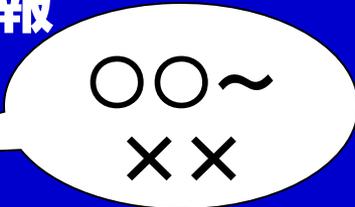
◆ Fさんへの理解
◆ 積極的な声



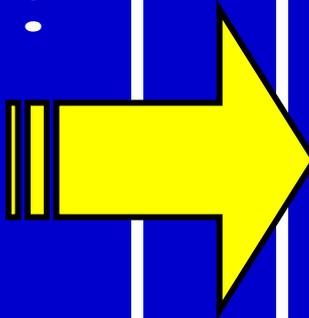
お孫さんの結婚披露宴に出席

現状

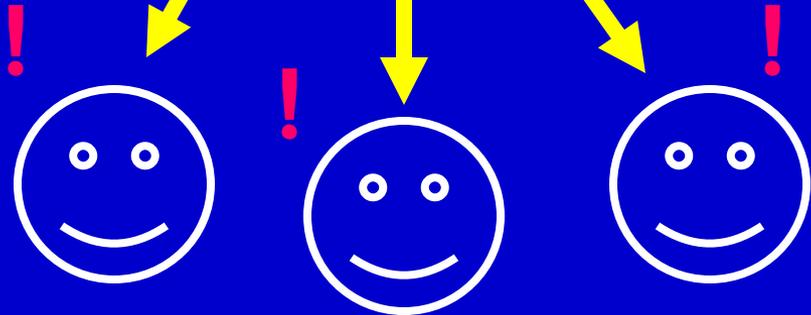
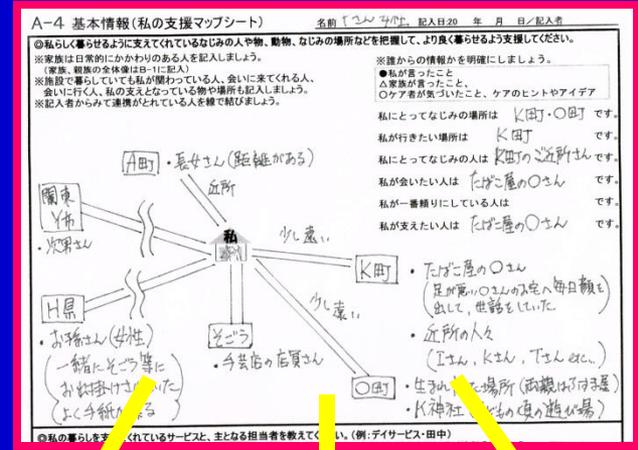
口頭による情報



支援に携わる職員が
限られている



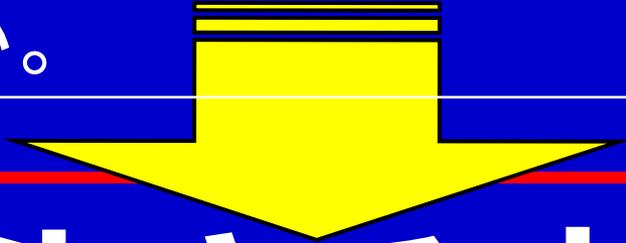
センター方式 「私の支援マップシート」



支援の充実

まとめ

- ◆利用者さんにとって「馴染みの人・場所」とは、重要な時期と一緒に過ごした人・場所のことだと分った。
- ◆重要な時期に過ごした場所・そこで助け合った大切な人との再会をきっかけに、自分が人に頼るだけではなく、人から頼りにされる存在、つまり人生の「主役」であったことを思い出すのではないのでしょうか。



生きる力

